

JFA第43回全日本U-12サッカー選手権大会北海道 千歳地区大会

開催要項

- 1 主 旨 日本将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指し、その研修の場として本大会を開催する。この趣旨を受けて、JFA第42回全日本U-12サッカー選手権大会北海道第10回道央ブロック大会に千歳地区代表として出場するチームを決定する。
- 2 名 称 JFA第43回全日本U-12サッカー選手権大会北海道 千歳地区予選大会
- 3 主 催 公益財団法人北海道サッカー協会
- 4 主 管 千歳地区サッカー協会
- 5 特別協賛 YKK(株)、花王(株)
- 6 協 賛 日本マクドナルド(株)、(株)日清製粉グループ、日清オイリオグループ(株)、ゼビオホールディングス(株)
- 7 主 催 公益財団法人北海道サッカー協会 千歳地区サッカー協会
- 8 日程・会場 令和元年9月1日(日)8日(日) 恵庭市ルルマップ自然公園ふれらんど
- 9 参加資格 (1) 「参加チーム」は大会実施年度に(公財)日本サッカー協会第4種に加盟登録したチームであること。
(2) 上記「参加チーム」の構成は単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は年間を通じて継続して活動していること。
(3) 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手で、(公財)日本サッカー協会第4種登録選手であること。ただしU-6選手の参加は認めない。
(4) 同一参加選手が異なる加盟チームへの移籍後、再び参加することはできない。
(5) 女子選手については(「クラブ申請」を承認された)同一クラブ内の他の「加盟チーム」から参加させることも可能とする。ただし、前項(4)は適用される。
(6) 「参加チーム」はJFA U-12サッカーリーグ2019 千歳地区大会 2ndラウンドにおいて参加資格を得たチームであること。
(7) 「参加チーム」の構成は、選手16名以内、引率指導者4名以内とし、当該チームの「JFA U-12サッカーリーグ2019 千歳地区大会」への登録選手が16人に満たない場合は、同一「加盟チーム」内のU-12リーグで敗退した「参加チーム」内の選手から補充することができる。
(8) 出場チームは(公財)日本サッカー協会発行の選手証を持参すること。但し、写真添付により、顔の確認ができるものであること。
* 選手証とは、WEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またはスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。
(9) 引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であり、(公財)日本サッカー協会公認コーチ資格(D級コーチ以上)を有すること。
(10) 参加選手は健康であり、且つ大会参加に関する親権者の同意を得たものでなければならない。
(11) 「参加チーム」は必ず『傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険)等』に加入していること。
- 10 大会形式 (1) 5チームによるリーグ戦を行い、上位3チームが道央ブロック大会へ進出する。
(2) 順位の決定は、
①勝ち点
②当該チーム同士の対戦成績
③当該チーム同士の得失点差・総得点・総失点
④全体の得失点差・総得点・総失点
の順とし、すべて同一の場合は3人PK(4人目以降サドンデス)により順位を決定する。
なお、PK戦の前に登録選手より8名を選出し主審に通知する。
(3) 不戦敗があった場合は、当該チームが行ったすべてのリーグ戦の結果と得点を無効とする。
- 11 競技規則 (公財)日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」による。

12 競技会規定 (1) 競技のフィールド

競技のフィールドの長さ(タッチライン)は68m、幅(ゴールライン)50mとする。
その他ペナルティエリア等の長さに関しては8人制サッカールールに準ずる。
(ペナルティエリア:12m ペナルティマーク:8m ペナルティアークの半径:7m)
ゴールポストの間隔は5m、クロスバーのグラウンドからの高さは2.15mとする。
※ゴールは競技者が負傷しないように安全に設置しなければならない。
交代ゾーン: 自由な選手交代のため、ベンチ側のタッチラインのハーフウェーに6mの交代ゾーンを設ける(ハーフウェーを挟んで3mずつ)

(2) ボール

モルテン社製『ヴァンタツジオ5000キッズ(F4V5000-R4号球』とする

(3) 競技者の数

競技者の数: 8名(8名に満たない場合は試合を行わず、得点を0対3として敗戦したものとみなす。試合中に怪我等による人数不足により8人に満たなくなった場合には、そのまま続行する)

交代要員の数: 8名以内

交代を行うことのできる数: 制限なし(交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。)

(4) 役員

ベンチ入りするチーム役員の数: 2名以上、4名以内とし、(公財)日本サッカー協会公認資格(D級以上)を有すること。ただし、事情により公認資格を有する指導者が1名しか帯同できない場合は、指導者以外のチーム役員が1名までベンチ入りできる。

(5) 審判員

主審、副審(2人)、予備審判の4名で運営する。

(6) テクニカルエリアは設置しない。ただし、その都度ただ1人の引率指導者のみが戦略的指示を与えることができる

(7) 競技者の用具・ユニフォーム

(公財)日本サッカー協会のユニフォーム規程(2016年4月1日施行)に基づいたユニフォームを使用しなければならない。ただし、今回の規程で追加・変更となった内容のうち、以下は旧規程による運用を許容する。

第5条[ユニフォームへの表示]※該当のみ抜粋

- ・グローブ・キャップへのチーム識別標章・選手番号・選手名の表示
- ・両肩・両脇・両袖口・両腰脇・両裾に表示できる製造メーカーロゴマークの幅
(10cmから8cmに変更)

・同一の製造メーカーロゴを帯状に配置する場合のロゴマーク間の距離

ユニフォームへの広告表示については、(公財)日本サッカー協会第4種大会部会が別途定める規定に基づくものでなければならず、2018年12月17日(月)までに本協会に承認された場合にのみ認められる。

選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを使用する。

(8) 試合時間

①試合時間は40分(前後半各20分)とする。

ハーフタイムのインターバル(前半終了から後半開始まで): 原則10分間

②規定の試合時間内に勝敗が決しない場合は引き分けとし、延長戦は行わない。

③アディショナルタイムの表示: 行う

(9) 交代の手続き

①交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。

②交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。

③交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。

④交代は、主審、補助審判の承認を得る必要はない。

⑤ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。

※交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。

負傷者の対応

(10) 主審が認めた場合のみ、最大2名ピッチへの入場を許可される。

- 13 懲 罰 (1) 本大会の予選は懲罰規程上の同一競技会とみなし、予選終了時で退場・退席による未消化の出場停止処分は本大会において順次消化する。
- (2) 本大会は、本協会「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。
- (3) 大会規律委員会の委員長は、道央ブロック第4種委員長が務める。委員については委員長が決定する。
- (4) 本大会期間中に警告を2度受けた競技者は、本大会の次の1試合に出場できない。
- (5) 本大会期間中において退場を命じられた競技者は、本大会の次の1試合に出場できず、それ以降の措置については本大会規律委員会において決定する。
競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止す
- (6) 本大会諸規定および本記載事項にない事項に関しては、大会規律委員会にて決定す
- 14 参 加 申 込 (1) 参加申込書
所定の用紙をEメールで提出する。
- (2) 大会参加料 4,000円 (第4回事業委員会で納入すること。)
- (3) 参加申込締切 令和元年8月26日(月) 17:00必着
- (4) 【申込先】
千歳地区サッカー協会第4種委員長 門田秀昭 宛
e-mail cfa_4syu@soccer.nifty.jp
- 15 帯 同 審 判 員 (1) 出場チームは(公財)日本サッカー協会審判員2名を帯同させること。帯同する審判員の氏名、資格等を参加申込書に記載すること。
- (2) 帯同審判員は、大会期間中審判業務にあたらせるものとする。
- (3) 不帯同は認めない。
- 14 監 督 会 議 行わない。
8月30日(金) 19:00～第4回少年事業委員会において説明を行う。
- 15 表 彰 式 9月8日(日)全試合終了後、大会本部前において行う。1位～3位のチームの選手・監督は全員参加することを原則とする。
- 16 そ の 他 (1) 選手証は大会初日の試合40分前までに大会本部に提出し、確認を受けること。
- (2) 大会規定に違反し、その他不都合な行為の発生した場合は、そのチームの本大会への出場を停止する。
- (3) 荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合は本大会実運営委員会(主管地区協会理事長、競技委員長、審判委員長などで構成)において協議の上、対処する。中断・中止・延期することがあるので留意のこと。
- (4) 主催・主管等は、大会期間中の事故に関する一切の責任を負わないものとする。